

■ 平成 28 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	866 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	2,010 点
	2,876 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲覧	利用者 延 4,830 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (308 日間)	8,754	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 〈青春の記憶 夢みる力〉 佐藤泰志の場所（トポス）	4/23(土) ～ 6/19(日) (50 日間)	2,603	佐藤泰志は 17 歳で有島青少年文芸賞優秀賞を「青春の記憶」で受賞、その後多くの秀作を「北方文芸」に発表。上京後も気鋭の作家として活躍し、「きみの鳥はうたえる」などで 5 度にわたり芥川賞候補になった。41 歳で自ら命を絶つが、足どりを辿りながら、「全存在作家」として疾走した彼の見た風景と文学世界を生原稿などの貴重な資料を通じて紹介。
	特別展 ミッフィーのたのしい お花畑～ディック・ブルーナが 描くお花と絵本の世界展～	6/29(水) ～ 9/4(日) (59 日間)	5,909	ディック・ブルーナは、オランダで最も有名なグラフィック・デザイナーであり絵本作家のひとり。1955 年に誕生した絵本の主人公ミッフィー（うさこちゃん）は、世界中で愛されてきた。本展ではとくに「花」と「植物」にスポットをあて、それらが登場する作品や、日本では未刊行の絵本「はなのほん」、あわせて独自のスタイル確立へのきっかけをつくったペーパーバック（大人向け推理小説）の装丁の仕事も紹介。
	特別展 2016 年の宮沢賢治 —科学と祈りのこころ	9/17(土) ～ 11/16(水) (52 日間)	4,692	本展では「グスコブドリの伝記」を中心に、この作品の成り立ちや分析を通して、厳しい自然環境や災害に苦しむ東北の農村を救済しようとした宮沢賢治の「科学と祈りのこころ」を読み解くとともに、東日本大震災という大規模な災害の経験を踏まえて、この物語をどのように読み、何を受け継ぐかを考える。
	ファミリー文学館 ワン/ニャン/ どっちも大好き	12/1(木) ～ 1/22(日) (41 日間)	1,760	文学作品に描かれている犬や猫の姿を、当館所蔵品の中から紹介。小説・エッセイ・詩・短歌・俳句・川柳・童話・絵本の中のさまざまな犬や猫たちと触れあってもらうとともに、親子で楽しめる絵本コーナーや簡単手作りコーナーを設置。
	特別展 「手仕事の日本」と 民藝の思想 —柳宗悦、暮らしの中の美を綴る	2/4(土) ～ 3/26(日) (44 日間)	3,748	柳宗悦は、暮らしの道具に美の本質を見出し、民衆的工芸の思想を標榜する民藝運動を主導した思想家。本展では、民藝思想を深める中で著した柳の著作をはじめ、芹澤銈介や棟方志功など民藝運動に関わった作家たちによる染色や版画作品のほか、益子焼や津軽こぎん、沖縄の壺屋焼などもあわせて紹介。

【文学館アーカイヴ（新着資料）コーナー】

- ・第 1 期展示〔4 月 12 日(火)～6 月 19 日(日)〕
装丁で楽しむ北海道の文学
北海道作家の本のヴィジュアルな要素に注目し、文章とイメージの相乗による魅力を紹介。
- ・第 2 期展示〔7 月 5 日(火)～9 月 4 日(日)〕
紙芝居一戦中・戦後
当館所蔵の紙芝居の中から戦中・戦後のものを紹介。
- ・第 3 期展示〔9 月 13 日(火)～11 月 7 日(月)〕

文学館の中の美術—宮崎丈二

北海道の詩人とも交流があった詩人でもあり画家でもある宮崎丈二の作品を紹介。

- ・第4期展示〔11月22日(火)～1月15日(日)〕

2016年の主な受賞とトピックス

北海道ゆかりの受賞者たちと受賞した作品を紹介。

- ・第5期展示〔1月31日(火)～3月26日(日)〕

北の手仕事あれこれ

装丁本や染絵など、手仕事の魅力を紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸子』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧者数(人)	観覧者数(参加者実数)	観覧率(%)	備考	
教育普及事業	講演会・セミナー・講話等	オープニングセレモニー		20		「佐藤泰志展」関連事業	
	朗読会「市街戦のジャズメン」	4/30(土)		91		出演：朗読ユニット華音	
	ギャラリートーク 講師：当館副館長	5/7(土)、5/22(日)、6/12(日)		58			
	文芸講演会「佐藤泰志とその時代」	5/15(日)	80	70	87.5%	講師：須田健二(詩人、映画監督)	
	映画上映会「書くことの重さ～作家佐藤泰志」	5/22(日)		70		講師：稲塚秀孝(ドキュメンタリー映画監督)	
	朗読会「佐藤泰志『海炭市叙景』と函館の文学」	5/29(日)		34		出演：ドラマチックリーディンググループき・く・ら	
	音楽会「佐藤泰志追想『青春の記憶』コンサート」	6/11(土)		58		出演：松本樹佳(ギター)、松本詩子(キーボード)、長崎亜希子(クラリネット)	
	オープニングセレモニー	6/29(水)		60		「ミッフィー展」関連事業	
	親子でいろがみワーク	7/26(火)、8/9(火)、8/10(水)		100			
	オープニングセレモニー	9/17(土)		15		「宮沢賢治展」関連事業	
	ギャラリートーク 講師：当館学芸員、財団理事	9/17(土)、9/24(土)、10/22(土)、10/29(土)		67			
	文芸講演会「宮沢賢治はブドリに何を託したか」	9/17(土)	80	64	80.0%	講師：岡田弘(北海道大学名誉教授)	
	文芸講演会「ケンジさんを語る『祖父から聞いた兄・宮沢賢治』」	9/19(月)	60	87	145.0%	講師：宮澤和樹(林風舎代表)	
	朗読と演奏「銀河鉄道、北から一詩と音楽のひとつとき」	9/22(木)		79		朗読：斉藤征義、五十嵐いおり、演奏：渡部大三郎(クラリネット)、岸林大輔(パーカッション)	
	文学散歩「札幌の宮沢賢治～その足どりをたどる」	9/30(金)		27		案内：石本裕之(旭川工業専門学校教授)	
	文芸講演会「東日本大震災後に読む『雨ニモマケズ』と『万太郎』」	10/1(土)	60	73	121.7%	講師：高橋世織(文芸評論家)	
	トークセッションI「ダイアログ『冥途あり』と『怪物君』」	10/2(日)	60	88	146.7%	講師：吉増剛造(詩人)、長野まゆみ(小説家)	
	プラネタリウム映写会+星空解説 解説：高橋真理子(星空工房アルリシャ代表)	10/8(土)～9(日)		151			
	トークセッションII「『宮沢賢治』をめぐる対話2016」	10/23(日)	60	102	170.0%	講師：アーサー・ビナード(詩人)、池澤夏樹(当館館長)	
	絵本作家トーク「わたしと宮沢賢治～スズキコージが語る童話の世界」	11/5(土)	60	92	153.3%	講師：スズキコージ(絵本作家)	
	「犬」川柳句会 講師：岡崎 守(北海道川柳連盟代表)	12/4(日)	80	19	23.8%	ファミリー文学館関連事業	
	朗読会「ニャンとワンダフルなひととき」	12/11(日)、12/25(日)、1/15(日)		130		出演：NHK文化センター「松井信子朗読教室」	
	大人のためのワークショップ「カードを作ろう犬の巻」	12/18(日)		12		講師：山田白百合(イラストレーター)	
	大人のためのワークショップ「カードを作ろう猫の巻」	1/22(日)		19		講師：山田白百合(イラストレーター)	
	講座「『手仕事の日本』のこころ」	2/4(土)	80	75	93.8%	講師：三浦正宏(海苔舎代表)	
	さわる・ギャラリートーク 講師：当館学芸員	2/11(土)、2/25(土)、3/11(土)、3/25(土)		66			
	ワークショップ「変わらぬ細工をつくらう」	2/12(日)、2/26(日)		44		講師：札幌村文化センター「変わらぬ細工の会」	
	朗読会「声と絵で楽しむ『手仕事の日本』」	3/10(金)		60		出演：穴水重雄(元NHKアナウンサー)	
	ワークショップ「はじめてのごきん刺し」	3/12(日)		13		講師：イフハラマリコ(手芸作家)	
	夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/27(木)～7/29(金)	20	24	120.0%	
	小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、当館ロビーに作品展示	7/1(金)～1/22(日)	3,000	4,639	154.6%	
	ファミリー文学館	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	12/3(土)		59		
	映画鑑賞会	ワークショップ「しおりをつくらう」	12/1(木)～1/22(日)	2,000	441	22.1%	
	映画鑑賞会	「海炭市叙景」	4/23(土)	60	61	101.7%	
	映画鑑賞会	「そのみにて光輝く」	5/7(土)	60	75	125.0%	
	映画鑑賞会	「夕陽の丘」	6/12(日)	60	71	118.3%	
	映画鑑賞会	「宮沢賢治 その愛」	9/18(日)	60	100	166.7%	
	映画鑑賞会	「グスコープドリの伝記」	10/30(日)	60	82	136.7%	
	市町村連携事業「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	19市町村20会場	1,200	2,031	169.3%	
	市町村連携事業「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催でパネル展等を開催	4市町村4会場	1,000	2,388	238.8%	
	文学・活字文化の振興事業	「北海道文学館公開歌会・句会」	10/29(土)	60	62	103.3%	出演：くまのりすと、内田弘、田島岬、岡崎守、<実作者>短歌、俳句、川柳各2名
	古典の日記念朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵	11/4(金)	60	144	240.0%	
	月例朗読会	朗読：朗読表現「ゆうの会」ほか4団体	年10回	600	580	96.7%	
	わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	15回開催	700	570	81.4%	
	ロビーコンサート	「篠笛と箏による和楽器の調べ」	11/3(木)	120	78	65.0%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2016」	7/22(金)	200	300	150.0%	展覧室の夜間開催等を実施	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(308日間)		4,830			
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(308日間)		1,457			
負担金事業計			9,880	19,836	200.8%		
※ 講演会・セミナー・講話等	池澤館長連続講演会(5回)	4月～3月	480	344	71.7%		
※ 文学館カレッジ	・文学案内人、川柳教室、絵本作家、源氏物語、宮沢賢治の世界、生誕記念講座の6講座	5月～3月	500	568	113.6%		
※ 文学館まつり	資料公開、朗読とギターのひとつとき、子ども広場、秋のミニ色紙づくりなど	9/22(木)	300	306	102.0%		
※ 文化公債の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	500	774	154.8%		
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(308日間)	100	234	234.0%		
※ 自主企画事業計			1,880	2,226	118.4%		
教育普及事業参加者 計			11,760	22,062	187.6%		

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「佐藤泰志の場所（トポス）」関連資料調査
- ② 特別展「ミッフィーのたのしいお花畑」関連資料調査
- ③ 特別展「2016年の宮沢賢治」関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「ワン！ニャン！どっちも大好き」関連資料調査
- ⑤ 特別展「「手仕事の日本」と民藝の思想」関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「ふみくらの奥をのぞけば」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「くサハリン島」2017」関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「有島武郎と未完の『星座』」関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

- ① 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第23回中川町短歌フェスティバル
(平成28年6月1日～10月31日 中川町)
- ② ロメウス弦楽四重奏団
ロメウス弦楽四重奏団第2回演奏会
(平成28年6月4日 北海道立文学館地下ロビー)
- ③ 新緑のバロック実行委員会
新緑のバロック
(平成28年6月10日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
震災復興チャリティーコンサート「第2回 JAPAN×竹あかり」
(平成28年9月24日及び25日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑤ 北のやまねこ座×詫び助
宮沢賢治生誕120年 朗読と音楽「宮沢賢治イーハトーブへの招待状」
(平成28年10月10日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ NHK文化センター朗読教室 松井信子クラス
第18回「北海道ゆかりの文学を読む」朗読会
(平成28年10月16日 北海道立文学館講堂)
- ⑦ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
宮沢賢治の詩の世界～朗読とハーブ
(平成28年10月27日 札幌市時計台ホール)
- ⑧ 山口流梅桃桜会札幌
山口千壽篠笛演奏会 Vol.8
(平成28年10月29日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑨ 宮下祥子ギター教室
SAPPORO WING CONCERT Vol.1
(平成28年11月5日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑩ チーム北斗星
絵本作家あべ弘士×写真絵本作家寺沢孝毅トークライブ
(平成28年11月12日 北海道立文学館講堂)

- ⑪ 特定非営利活動法人 絵本・児童文学研究センター
絵本・児童文学研究センター第21回文化セミナー「みみをすます 人・詩・絵本」
(平成28年11月20日 小樽市民会館)
- ⑫ ハビエル・ジャラ ギターリサイタル実行委員会
ハビエル・ジャラ ギターリサイタル
(平成28年12月1日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑬ クリスマスの煌めき実行委員会
クリスマスの煌めき～音楽と朗読とともに
(平成28年12月10日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑭ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
震災復興チャリティーコンサート「第4回 JAPAN×竹あかり」
(平成28年12月11日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑮ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
震災復興チャリティーコンサート「第5回 JAPAN×竹あかり」
(平成28年12月18日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑯ ロメウス弦楽四重奏団
ロメウス弦楽四重奏団第3回演奏会
(平成29年3月1日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑰ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
JAPAN×竹あかり 震災追悼コンサート
(平成29年3月11日 北海道立文学館地下ロビー)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、TV及び新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第105号(5月27日付)、第106号(8月19日付)、第107号(11月5日付)、第108号(3月7日付)を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「佐藤泰志の場所(トポス)」図録の刊行
- ② 特別展「2016年の宮沢賢治」図録の刊行
- ③ 特別展「「手仕事の日本」と民藝の思想」図録の発行
- ④ 「平成27年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入
博物館実習生13名(受入期間 7月～2月。実習期間 2週間)